

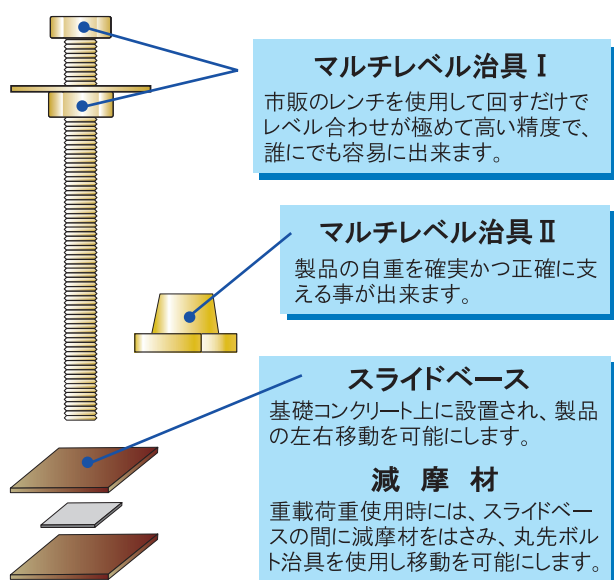
マルチレベル工法・マルチ搬送(横引)工法

コンクリート二次製品据付・搬送機工法
NETIS登録番号：TH-020011-V

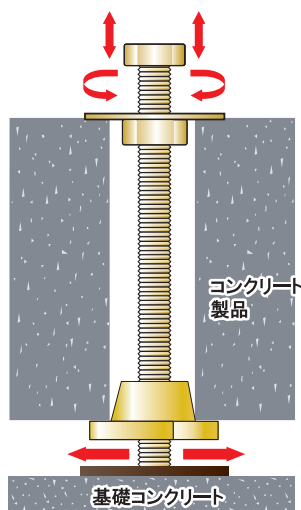
マルチレベル工法の特長

- 新幹線・鉄道・河川等高架下で、クレーン等の重機による搬送、据付が不可能な場所などに最適です。
- 据付場所が建築物の間など狭い場所での施工が可能です。
- 仮設スペースが確保できず、据付線形が曲線の場合に効果絶大です。
- 従来施工法よりもはるかに施工スピードが速く、熟練度に左右されない、安心・安全な施工工法です。

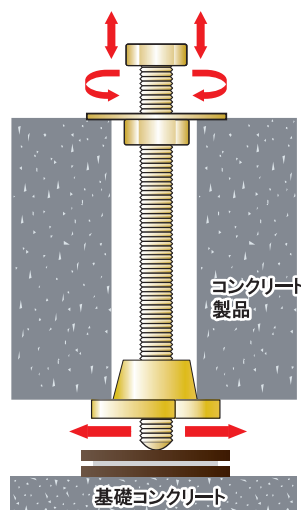
マルチレベル治具標準図



【標準荷重使用治具(平先)例】



【重荷重使用治具(丸先)例】



適用範囲 | ボックスカルバート・各種可とうボックスカルバート・L型擁壁・大型フリーム
L型水路ブロック・アーチカルバート・ロング側溝・各種プレキャスト床板・セーフティホーム
その他プレキャスト製品 ※その他特殊な製品についてはお問い合わせ下さい。

※技術の向上に伴い、形状・仕様等を変更する場合があります。

施工写真



ボックスカルバート



大型フリーム



L型擁壁

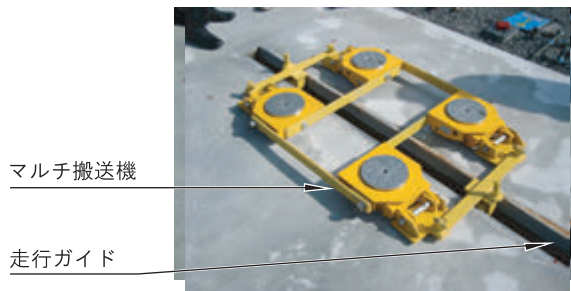


L型水路

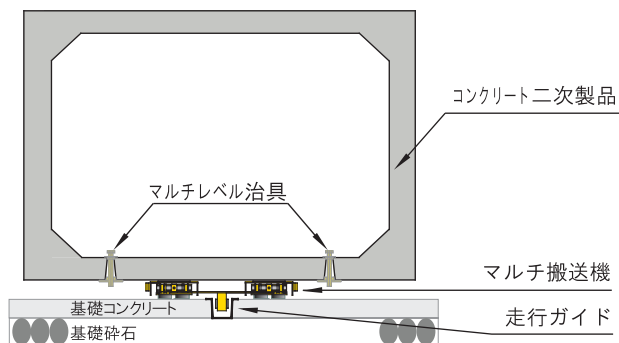
マルチ搬送（横引）工法の特長

- シンプルな搬送機、基礎コンクリートの加工は走行ガイドを埋込むだけなので、経済性に優れます。
- 搬送機の幅、長さ、載荷重を変えることが可能で、あらゆる形状・荷重の二次製品の搬送にも対応できます。
- 走行ガイドに沿って走行することにより曲線部の走行も可能です。（最小半径R9m程度）
- マルチレベル工法と併用することにより、搬送先で据付する際も人力で素早く高精度な据付が可能です。

平面図



断面図



こんな時に!

- 高架下、架空線などの上空制限がある場合
- 仮設土留材（腹起・切梁等）が据付に支障する場合
- クレーンスペースが全線で確保出来ない場合
- 覆工版の下で交通に支障を与えず据付を行いたい場合
- クレーンの段取り替えにより施工効率が悪い場合
- 据付のための仮設道路が必要な場合



高架下でのボックスカルバート搬送（横引）据付施工



高架下での大型フリーウム搬送（横引）据付施工



狭隘かつ落差工でのボックスカルバート搬送（横引）据付施工



高架下でのL型水路ブロック搬送（横引）据付施工



覆工版下でのボックスカルバート搬送（横引）据付施工

施工効率比較表

製品	規格・据付長	日進量		据付日数		クレーン車 重機排出CO ₂ 低減率
		従来工法 <small>国土交通省歩掛</small>	マルチレベル工法 (施工実績)	従来工法	マルチレベル工法 (施工実績)	
ボックスカルバート	1.5m×1.5m×2m 据付長 L=500m	16.7m	22.0m (24.1%増)	30日	22.7日 (24.4%増)	24.4%
L型擁壁	H2.0m×2.0m 据付長 L=500m	29.4m	50.0m (41.1%増)	17日	10日 (41.2%増)	41.2%
大型フリーウム	2,900kg≤3,500kg 据付長 L=500m	26.0m	60.0m (56.7%増)	19.2日	8.3日 (56.8%増)	56.8%